



波多見っ子

学校便り 令和8年7月号
呉市立波多見小学校

もうすぐ夏休み。事故なく9月に子供達が登校してくれることを・・・

梅雨と台風の影響で全国各地で様々な被害が報道されています。波多見小学校でも、先月末、大雨警報の発令により、学校は2日間にわたり休校となりました。学校は、建物等の被害はなく、翌週の月曜日からは、いつも通り児童の元気な声が校舎中に響き渡っています。

さて、もうすぐ1学期が終了します。そして、児童が楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、交通事故、水難事故など様々な心配もありますが、9月には、児童が元気な姿で登校してくれることを願っています。

7月1日（水）広島サンダーズの西 知恕（にし ちひろ）選手、西村 信（にしむら まこと）選手が来校し、5・6年生の児童にソフトバレーボールの指導をしてくださいました。

はじめに、デモンストレーションとして、両選手が大迫力のスパイクを見せてくれると、間近で見ていた子供達から「うわー」「きゃあー」という大歓声が上がりました。その後も、親切・丁寧にパスやスパイクの指導をしてくださったり、グループ対抗のミニゲームをしてくださったりしました。周りで、観戦した他学年の児童の中には、食い入るように両選手を見つめる子もいました。

最後に、両選手が、児童からの質問に対して、親切・明瞭に答えてくださったのですが、止まらぬ児童の質問からも児童の関心の高さがうかがえました。

児童 A「とにかく、楽しかった。サンダーズのことを応援しようと思った。」

児童 B「教え方がとても丁寧で、少しスパイクができるようになってうれしかった。」

児童 C「2年前にドラゴンフライズ（広島のプロバスケットボールチーム）が来たときには、周りで見ていただけだったので、一緒に活動ができて今日はとてもうれしかった。」

西村選手が、「今日を機会に広島サンダーズを応援してくださいね。今度、試合を見に来てくれる人？」と児童に尋ねると、7割くらいの児童が手を上げていました。もしも、ご家庭でお子さんが広島サンダーズの試合を直接見たいと言うようであれば、ぜひ検討してあげてください。



今月はお知らせする内容が盛りだくさんです。少しずつかいつまんでお伝えしていきます。

2年生が生活科「まち探検」の授業で「きらきら音戸保育園」「ウォンツ」「セブンイレブン」を訪問しました。大変お世話になりました。



先月から水泳指導が始まりました。1年生にとっては初めての水泳指導。

宝探しゲームなどをしながら水に慣れ親しんでいました。



教職員を対象に、消防署の救急の方に来ていただき「心肺蘇生法」と「アレルギー対応」の研修を実施しました。毎年この時期に行うのですが、命について考える身の引き締まる研修の場となりました。



講師の竹上さん（本校の学校運営協議会委員）と呉市の選挙管理委員会の方々が6年生児童を対象に模擬選挙の授業をしてくださいました。ありがとうございました。



7月の予定 SC相談日 7/7（火）PM

15日（水）大掃除

16日（木）給食終了・個人懇談会

17日（金）終業式・個人懇談会

8月の予定 SC相談日 なし

6日（木）全校登校日

19日（水）5年くれリンクアップコンサート

21日（金）全校登校日

24日（月）25日（火）5年野外活動

6月19日（金）きらきら音戸保育園の先生が小学校の授業参観を見に来てくださいました。そして、6月29日（月）1年生児童が里帰りとして、「きらきら音戸保育園」に行きました。たくさんの出し物を用意してくださりありがとうございました。



校長のつぶやき

今年度、外部から来られた何人もの人が「今年の波多見小学校の子供達は落ち着いていますね。」と言ってくれます。確かに、先月の学校通信でもお伝えしたとおり、読書朝会のときに、児童は黙って本を読んでいます。さらに、体育館での朝会のときも、静かに移動しています。休憩時間が終了したときも運動場から駆け足で教室に戻ろうとする児童の姿をよく見かけます。教職員間でも同様の話をすることがよくあります。しかし、このような児童の姿は学校においては当たり前にならなければならないことです。

今後、児童に期待していることは「学習に意欲的に取り組む姿」です。そのために音戸中学校区では、学力の向上に関わる様々な取組をしています。波多見小学校でもぐんぐんルーム（学習ルーム）を整備し、放課後、少人数に分けて学力の補充をしています。その成果かどうかは分かりませんが、広島サンダーズの選手にたくさんの児童が大人も考えさせられるような質問を積極的にしていました。両選手も帰り際に、児童が意欲的に質問する姿を褒めてくださいました。校長としてうれしい限りです。

今後も児童の学習に意欲的に取り組む姿を追求しながら、学力向上に向けて真摯に取り組んでいきます。